

# 上市町地域公共交通網形成計画（案）について

## 経緯

- 1 素案協議：令和元年12月26日 第3回上市町地域公共交通活性化協議会にて  
（協議結果）計画（素案）の一部について意見があり、「会長預かり」  
としたうえで、一部修正を行ったうえでパブリックコメントを  
行うことで協議が調った。
- 2 修正内容：別紙のとおり
- 3 パブリックコメントの実施：  
（実施期間）令和元年1月15日（水）～29日（水）  
（実施方法）町ホームページ及び町企画課窓口にて閲覧
- 4 パブリックコメントの結果：意見等なし

○上市町地域公共交通網形成計画（素案）の修正箇所一覧（No.1）

修正P	修正前	修正後	備考
59	<p>人口減少が今後も進展することが見込まれ、町営バスの利用者減につながる可能性がある。また、世帯当たり自動車保有台数が約 1.80 台と富山県平均（1.75 台）より高く、町民の主な交通手段が自家用車であるが、今後住民の内約 4 割が高齢者になることが見込まれ、高齢者ドライバーによる事故が増加する可能性がある。</p>	<p>人口減少が今後も進展することが見込まれ、町営バスの利用者減につながる可能性がある。また、世帯当たり自動車保有台数が約 1.80 台と富山県平均（1.75 台）より高く、町民の主な交通手段が自家用車であるが、今後住民の内約 4 割が高齢者になることが見込まれ、高齢者ドライバーによる事故が増加する可能性がある。<u>このほか、バスやタクシーの運転手について、全国的に高齢化や人手不足が続いている状況であり、運転手の継続した確保が必要である。</u></p>	
64	<p>12 地域公共交通の多面的な効果の算出・公表</p>	<p>12 地域公共交通の<u>重要性等の理解促進</u></p>	
65	<p>2 重複ルート・低乗車率便の見直し            ◎町営バス全路線で、町営バス利用者数を毎月受託事業者から報告を受けるとともに、OD調査を年1回程度実施し、曜日や時間等により乗車率が低い便の検討及び必要に応じた見直しを行う。            ◎相ノ木線と弓庄線内の重複ルートを解消し、効率的な運行ルートの策定を行う。</p>	<p>2 重複ルート・低乗車率便の見直し            ◎町営バス全路線で、町営バス利用者数を毎月受託事業者から報告を受けるとともに、OD調査を年1回程度実施し、曜日や時間等により乗車率が低い便の検討及び必要に応じた見直しを行う。            ◎相ノ木線と弓庄線内の重複ルートを解消し、効率的な運行ルートの策定を行う。</p> <p>※OD調査とは            異動の起点「O」(origin)、と移動の終点「D」(destination)を移動の目的などとともに調査を実施することで、「起終点調査」とも呼ばれる。</p>	

○上市町地域公共交通網形成計画（素案）の修正案（No.2）

修正P	修正前	修正後	備考
68	<p>12 地域公共交通の多面的な効果の算出・公表</p> <p>◎地域公共交通が果たしている役割を定量的な形で示し、その重要性を広く周知するため、地域公共交通の多面的な効果である「クロスセクター効果」の算出を行い、その結果を広く周知することで公共交通の重要性を町民に認識してもらおう。</p> <p>※クロスセクター効果とは 地域公共交通を廃止したときに追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と公共交通の運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる地域公共交通の多面的効果です。</p>	<p>12 地域公共交通の<u>重要性等の理解促進</u></p> <p>◎<u>OD調査や乗り込み状況調査、住民との意見交換会の実施などにより、バス利用者等の意見を丁寧に聞き取り、これらを量的・質的に類型化するなど住民にわかりやすい形で公共交通があることの重要性やその価値を示し、地域公共交通の理解の促進に努める。</u></p>	
74	<p>12 地域公共交通の多面的な効果の算出・公表</p>	<p>12 地域公共交通の<u>重要性等の理解促進</u></p>	
76	<p>○上市町の役割</p>	<p>○ <u>上市町の役割</u></p>	
77	<p>○町営バスの利用状況データの収集と精査（1年PDCA）</p> <p>町営バスの利用状況データを収集（常時乗降状況を記録、OD調査を実施）し、1年間の利用実績により、見直しが必要と考える路線については、協議会や地元との協議を行い、合意を経たうえで、見直しを実施する。各年10月までの利用状況についてのデータを集計・検証を行い、見直しの有無について検証を行い、地元協議や協議会協議を踏まえて、4月に運行見直しを実施するサイクルで検証を行う。</p>	<p>○町営バスの利用状況データの収集と精査（1年PDCA）</p> <p>町営バスの利用状況データを収集（常時乗降状況を記録、OD調査を実施）し、1年間の利用実績により、見直しが必要と考える路線については、協議会や地元との協議を行い、合意を経たうえで、見直しを実施する。各年10月までの利用状況についてのデータを集計・検証を行い、見直しの有無について検証を行い、地元協議や協議会協議を踏まえて、4月に運行見直しを実施するサイクルで検証を行う。</p> <p>また、利用状況にあわせて、収支状況に関するデータも収集し、定量的な視点から、町営バスの経営に関する精査・検証も実施する。</p>	

